

2014年(平成26年)2月28日

平成26年度(第8期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」「YMFS 国際スポーツ奨学金」
東京オリンピック・パラリンピックをめざす4人の若きアスリートを含む
計32件・総額3,112万円の助成決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団では、平成26年度(第8期生)のスポーツチャレンジ(体験/研究)助成および国際スポーツ奨学金について、東京オリンピック・パラリンピックをめざす4人の若きアスリートを含む計32件(総額3,112万8,755円)を決定いたしました。応募数は、助成および奨学金において計114件でした。

なお、平成26年度(第8期生)の助成金・奨学金は、3月14日(金)15時50分から、ヤマハリゾートつま恋(静岡県掛川市満水2000)にて、当財団理事長木村隆昭より贈呈します。

助成対象者の内訳は、「スポーツチャレンジ体験助成」14件、「スポーツチャレンジ研究助成」14件、「国際スポーツ奨学金(海外留学生/外国人留学生)」4件です。

特徴は、若い世代のチャレンジャーが多く、特に「スポーツチャレンジ体験助成」には、東京オリンピック・パラリンピックをめざす4人のアスリートが含まれています。具体的には、第8期生の体験助成対象の平均年齢が10歳代7人を含む約20歳(7期生は約24歳)、研究助成対象の平均年齢は20歳代8人を含む約30歳(7期生は約34歳)です。また、東京オリンピック・パラリンピックをめざすアスリートの種目は、陸上・自転車レース・フェンシングです。

平成26年度(第8期生)助成概要 ※活動期間は平成26年4月から平成27年3月まで。

	応募数	採択件(人)数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	44件(4件)	14件(3件)	1,326万755円
スポーツチャレンジ研究助成	54件(2件)	14件(2件)	1,306万8,000円
国際スポーツ奨学金(1年分)	16件	4件	480万円
計	114件	32件	3,112万8,755円

※()内は合計に含まれる継続助成の件数

「スポーツチャレンジ助成」「国際スポーツ奨学金」概要

「スポーツチャレンジ助成」「国際スポーツ奨学金」は、スポーツを通じて、世界に翔ばたく逞しい人材を育成することを目的とした助成金・奨学金の交付制度です。助成対象者は目標設定を行い、その活動に対する報告書の提出、報告会への参加など、PDCAサイクルを基調とした独自のサポートプログラムを通じ活動します。

「スポーツチャレンジ助成」には、基本助成として、アスリート、指導者、審判など、各種体験活動に対して助成金を交付する「体験助成」と、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付する「研究助成」の2部門があります。また、継続助成も設定しており、1件あたりの助成金は100万円を上限とし、交付期間は1年間です。

「国際スポーツ奨学金」は、スポーツの普及・振興にかかわる学問・研究に取り組む国内外の留学生を対象とした奨学金制度で、奨学金は大学生、大学院生ともに10万円(月額)とし、給与期間は1年または2年間です。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・望月

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

平成 26 年度(第 8 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧

基本助成				
氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属	出身地
あしだ はじめ 芦田 創 (20)	陸上・短距離種目(障害者スポーツ)/選手	短距離種目でのリオデジネイロ・パラリンピックへの出場、そして東京へ	早稲田大学	大阪府
うちやま まさたか 内山 雅貴 (18)	自転車レース(ロードレース)/選手	東京オリンピック自転車ロードレースでのメダル獲得に向けた欧州 UCI レースへの挑戦	静岡県立浜松東高等学校	静岡県
おおかわ はる 大川 晴 (23)	アルティメット/指導者	コンゴ民主共和国での日本人アルティメット代表監督の挑戦 ～2016 年世界大会に向けて～	慶應義塾大学、コンゴ民主主義共和国フライングディスク協会	東京都
おぎはら みやこ 荻原 京 (18)	スキー(フリースタイル・モーグル)/選手	ワールドカップ、世界選手権、オリンピックをめざして～フリースタイルスキー・モーグル種目～	長野県立野沢北高等学校	長野県
かみした とむ 神下 豊夢 (23)	陸上・砲丸投げ(障害者スポーツ)/選手	「F46 クラス男子砲丸投げ」の動作分析研究を通して 2016 年パラリンピック出場をめざす	大阪体育大学	大阪府
ささき はるな 佐々木 陽菜 (17)	フェンシング(サーブル)/選手	東京オリンピックでのメダル獲得をめざす～フェンシング サーブル～	福島成蹊高等学校	福島県
たけうち あいな 竹内 愛菜 (22)	アイスホッケー/選手	アイスホッケー北米大学リーグへの挑戦 平昌オリンピックへの出場および上位入賞	北海道教育大学	北海道
たなか やすひろ 田中 康大 (24)	水泳(障害者スポーツ)/選手	頑張った結果は報われる ～2016 年リオ・パラリンピック 100m 平泳ぎで再び表彰台の感動を～	—	千葉県
ふじた たくや 藤田 拓哉 (19)	モーターサイクルレース(ロードレース)/選手	モーターサイクルロードレースにおける世界グランプリ日本人チャンピオンへの挑戦	DOG FIGHT RACING	千葉県
みうら ゆうき 三浦 優希 (17)	アイスホッケー/選手	常にエキストラリーグで活躍する選手となり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪に導く	早稲田実業学校高等部	東京都
やなおか 柳岡 はるか (18)	フェンシング(フルーレ)/選手	2016・2020 年のオリンピックでフェンシング日本人女子選手として初の金メダル獲得	法政大学	東京都
継続助成				
こばやし ゆき 小林 由貴 (26)	スキー(クロスカントリー)/選手	平昌オリンピックでのメダル獲得～クロスカントリー王国ノルウェーのクラブチームからの挑戦～	岐阜日野自動車	新潟県
さとう まりの 佐藤 麻梨乃 (18)	陸上・棒高跳び(障害者スポーツ)/選手	日本学生陸上競技対校選手権大会で女子聴覚障害者初の棒高跳び入賞をめざして	横須賀市立ろう学校	神奈川県
たなか こうたろう 田中 幸太郎 (23)	レスリング(フリースタイル)/選手	オリンピック金メダルへの挑戦～レスリング フリースタイル～	阪神酒販	京都府

(平成 26 年 2 月 1 日現在)

平成 26 年度(第 8 期生) スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧

基本助成		
氏名(年齢)	チャレンジテーマ	所属
うちだ まさたか 内田 昌孝(28)	腸内細菌叢調節機構を介したメタボリックシンドローム発症に及ぼす自発的運動習慣の効果	川崎医療福祉大学大学院 医療技術研究科 健康科学専攻
うちだ わかき 内田 若希(35)	障害のあるトップアスリートの自己変容に及ぼすスポーツドラマチック体験の影響	九州大学大学院 人間環境学研究院
えしま ひろあき 江島 弘晃(26)	筋細胞内のカルシウムイオン調節によるミトコンドリアの役割	電気通信大学大学院 情報理工学研究科 先進理工学専攻
おおばやし たるう 大林 太朗(25)	スポーツ史からみた関東大震災(1923 年)と「復興公園」の歴史的意義	筑波大学 人間総合科学研究科 体育科学専攻
きたおか ゆう 北岡 祐(30)	エネルギー基質としての乳酸	東京大学大学院 総合文化研究科
しようじ ひると 庄子 博人(31)	スポーツを核とした街づくりを担う「スマート・ベニュー」～スタジアムにおける新たなビジネスモデルの検討～	大阪成蹊大学 マネジメント学部
つた き あらた 葛木 新(29)	低周波数電気刺激誘因性筋タンパク質合成は MAPK 経路を介するか?	日本体育大学大学院 体育科学研究科
つちや よしふみ 土屋 吉史(26)	電気刺激で誘発した筋収縮が骨格筋由来の新規生理活性物質「Irisin」の分泌に及ぼす影響	立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科
にしまさき みお 西牧 未央(26)	異なる急速減量の期間が生体内の酸化ストレス応答に及ぼす影響について ～レスラーの健康を考える～	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
ひらやま くにあき 平山 邦明(31)	プライオメトリックトレーニングによるパワー発揮能力向上のメカニズムの解明	早稲田大学 スポーツ科学学術院
ふじい けいすけ 藤井 慶輔(27)	相手がいる状況においてバスケットボール選手が素早く動き出すメカニズムの解明	名古屋大学 総合保健体育科学センター
まかぬえ ゆうへい 蒔苗 裕平(28)	活性酸素種は運動効果を増強するか?	立命館大学 立命館グローバルイノベーション機構
継続助成		
ふくたに あつき 福谷 充輝(31)	なぜ反動によって身体運動パフォーマンスが増強するのか? —反動による筋力増強機序の個別抽出による検証—	立命館大学 総合科学技術研究機構
せと くにひろ 瀬戸 邦弘(41)	世界に広がる綱引き文化の動態研究 —民族綱引き文化の世界地図作成を目指して—	上智大学 文学部保健体育研究室

(平成 26 年 2 月 1 日現在)

平成 26 年度(第 8 期生) 国際スポーツ奨学金 対象者一覧

海外留学生奨学金			
氏名(年齢)	留学国	留学テーマ	所属
さくた あすか 作田 飛鳥(25)	アメリカ	ソマティックのスポーツ生理学的アプローチを取り入れた舞踏訓練法の体系化と確立	早稲田大学大学院
外国人留学生奨学金			
氏名(年齢)	国籍	留学テーマ	所属
サヤラット ポンナリー(26)	ラオス	ラオスのスポーツ・学校体育の現状について —運動有能感の視点から—	奈良教育大学大学院
ソン ボギョン(25)	韓国	水泳におけるパフォーマンス向上に有効な試合前のコンディションの自己調整法の開発	筑波大学大学院
フィグロア ゴンザレス イ ポルト ラファエル(34)	メキシコ	後期高齢者用の ADL(日常生活動作)年齢算出式の開発	筑波大学大学院

(平成 26 年 2 月 1 日現在)

【 スポーツチャレンジ助成 申請者全体 】

		体験助成	研究助成
申請件数		44 件 男性 24 件・女性 20 件/個人 42 件・グループ 2 件	54 件 男性 49 件・女性 5 件/個人 22 件・グループ 32 件
年代別	10 代	12 件(27%)	0 件(0%)
	20 代	23 件(52%)	21 件(39%)
	30 代	2 件(5%)	21 件(39%)
	40 代	5 件(11%)	9 件(17%)
	50 代以上	2 件(5%)	3 件(5%)
平均年齢		26.4 歳	33.9 歳
その他属性		アスリート 31 件(70%) 指導者 2 件(5%) 審判 1 件(2%) スポーツ振興 2 件(5%) 障害者スポーツ 8 件(18%)	教授 1 件(2%) 准教授 6 件(11%) 講師 8 件(15%) 助教・助手 9 件(17%) 大学院生 25 件(46%) 大学生 2 件(4%) その他 3 件(5%)

※継続助成申請を含む。

【 スポーツチャレンジ助成 助成対象者 】

		体験助成	研究助成
採択件数		14 件 男性 7 件・女性 7 件/個人 14 件・グループ 0 件	14 件 男性 12 件・女性 2 件/個人 5 件・グループ 9 件
年代別	10 代	7 件(50%)	0 件(0%)
	20 代	7 件(50%)	8 件(57%)
	30 代	0 件(0%)	5 件(36%)
	40 代	0 件(0%)	1 件(7%)
	50 代以上	0 件(0%)	0 件(0%)
平均年齢		20.4 歳	29.6 歳
その他属性		アスリート 8 件(57%) 指導者 1 件(7%) 障害者スポーツ 5 件(36%) その他 0 件(0%)	講師 4 件(29%) 助教・助手 1 件(7%) 大学院生 6 件(43%) その他 3 件(21%)

※継続助成対象者を含む。

【 国際スポーツ奨学金 申請者全体および対象者 】

	日本人留学生	外国人留学生
申請数	6 名 (男性 4 名・女性 2 名)	10 名 (男性 3 名・女性 7 名)
奨学生(決定者)	1 名 (男性 0 名・女性 1 名)	3 名 (男性 1 名・女性 2 名)